

令和 7 年度 第二回ネイパル厚岸 運営協議会 議事録（要約・修正文）

令和 8 年 3 月 24 日（木）16:00～／ネイパル厚岸 研修室

■ 出席者

車塚氏（厚岸町生涯学習課 課長）

加藤氏（厚岸味覚ターミナル・コンキリエ 取締役支配人）

千葉氏（B&G 海洋センター 所長）

河内氏（Amamo Works 代表）

菅原氏（厚岸町海事記念館 館長）

ネイパル厚岸：上杉所長、加藤主幹、大槻係長（書記）

要約

この協議会では主にネイパル厚岸の年度運営状況と今後の方針について議論された。司会者が今年度の利用者数推移（見込み 16,066 名で前年比微増）、主催事業 17 回実施（延べ 1,300 人参加）、自主企画事業を前年 5 回から 10 回に倍増させた取り組みを報告した。特に閑散期対策として冬フェス、正月遊び、冬キャンプ、編み物教室などの新規事業を展開し、収益確保と雇用創出を図った。利用者満足度調査では建物・設備 94.5%、職員対応 96.4%と高評価を得たが、体験活動プログラムが 81.8%と低下した。これは指導の個別化導入により学校側が戸惑いを感じたことが原因とされた。加藤氏は体験活動の満足度低下と食事のバリエーション不足を指摘し、安全第一の重要性を強調した。車塚課長は指導方針の柔軟な対応を評価し、食事のバイキング形式廃止の影響について言及した。菅原氏は LINE 会員制度の効果と 1 月の利用者数増加について質問した。千葉所長は暑さ対策の改善を評価し、個別化指導の今後について確認した。

河内氏は自主企画事業の成果を評価しつつ、申込システムのスマートフォン対応改善を提案した。最後に潮干狩り大会の規模縮小やボイラー老朽化などの運営課題についても議論された。

議題内容抜粋

- ・指導の個別化について学校団体への説明動画を作成し、確実に伝達することを次年度の取り組みとして実施する予定。職員による指導を希望する学校には柔軟に対応し、支援に回りつつ必要に応じて職員による指導も行う。それに伴い、事前学校訪問による体験活動実践指導を次年度から本格的に開始する。
- ・食事業者と相談して連泊者向けに朝食メニューのバリエーション改善を進めているところ。
- ・宿泊棟全室への洗濯乾燥機設置と個人室への扇風機設置を今年度中に完了する。
- ・館内 Wi-Fi 整備を令和年末までに完成させる計画。
- ・ボイラー修理を4月中に完成させる予定。
- ・宿泊税導入（4月より）に伴うシステム構築の見直しを4月から実施。
- ・スマートフォンでの予約システム構築を今後整備していく計画を示した。
- ・車塚課長は食育プログラムに関する人材情報の共有について協力を提案。
- ・潮干狩り大会の規模調整について観光協会との事前調整を行うと約束した。

Q&A

・体験活動プログラムの満足度が下がった具体的な要因は何ですか？

指導方法を変更したことが一番の要因です。今まではネイパル職員が主で指導していたところを、学校主体で指導するようにしたことによる戸惑いが原因です。職員が指導してくれなくなったという誤解が一人歩きしてしまい、このような結果になっています。

・食事の料金設定はどうなっていますか？

夕食 1,000 円、昼食 750 円、朝食 650 円で設定しています。こちらは全ての施設で決まっているわけではなく、施設ごとに上限の中で食事料金を設定しており、厚岸の場合はこの料金体系となっています。

・1月の利用者数が大幅に増加した理由は何ですか？

主にアウトリーチ事業の効果だと思われます。ネイパルのフェスに行って体験しに来たご家族がたくさんいたことと、1月の閑散期に自主企画事業を実施したことで数字的に伸びています。

・LINE 会員制度は有料版を使用していますか？

はい、有料版を使用しています。無料版だと月 300 通の上限があり、300 人に送ると上限に達してしまうため、現在 400 人以上の会員がいる状況では有料版（月額 5,500 円程度）を利用しています。

・申込システムのスマートフォン対応について改善予定はありますか？

現在は Google スプレッドシートでの申請書作成を求めています。スマートフォンでの入力には困難なため、Google フォームへの変更を検討しています。フォームの入力結果はスプレッドシートとして管理できるため、利用者の利便性向上を図りたいと考えています。